

## 令和2年度 学校経営環境分析書

吉浦中学校区 校番 15 学校名 吉浦中学校

## 1 学校の内外環境の分析 (太字は中学校区共通の内容)

外部環境	O (支援的要因) <ul style="list-style-type: none"> <li>①多くの地域住民・地域組織が協力的であり、学校への支援内容も充実している。</li> <li>②地域独自の伝統や文化（祭り等）が豊富で、学習素材が多い。</li> </ul>	S (強み) <ul style="list-style-type: none"> <li>①中学校区が1中学校1小学校で連携しやすく、共通理念に基づいた小中一貫教育を進めている。</li> <li>②授業のユニバーサルデザイン化、グローバル教育推進を軸とした9年間の系統的・継続的な学習の取組ができる。</li> <li>③学習規律が守られ、<b>学習活動や各種行事に意欲的に取り組む生徒が多い。</b></li> <li>④部活動に<b>主体的に取り組む生徒が増えている。</b></li> </ul>	支援的要因と強みを生かした活動・取組は  ★★★確かな学力 (1)小中一貫教育の推進(授業のユニバーサルデザイン化・グローバル教育の推進) ★★豊かな心 (1)小中一貫道徳教育の充実(地域人材・文化等の活用)
	T (阻害的要因) <ul style="list-style-type: none"> <li>①小学校が離れており、児童生徒の交流が容易ではない。</li> <li>②校区が広範囲に渡っている。</li> <li>③地域内に急傾斜地が多いため大雨の際、土砂災害が心配される。</li> <li>④校区内の交通量が多く、道幅が狭く坂が多いため、交通事故が心配される。</li> <li>⑤保護者の価値観・考え方方が多様で、協力が得られにくい家庭がある。</li> </ul>	W (弱み) <ul style="list-style-type: none"> <li>①基本的生活<b>習慣</b>が身に付いておらず、社会性が育っていない生徒がある。</li> <li>②家庭学習習慣の定着が不十分である。</li> <li>③学力調査において、<b>全学年全国平均を下回っている教科が多い。</b></li> <li>④人間関係において、相手意識が薄く、一緒に協力し合うことができないことがある。</li> <li>⑤時間外勤務時間が100時間を超える教職員がいる。</li> </ul>	内部環境  ★★★確かな学力 (1)「考える授業」づくりの充実 (2)指導方法・教材の工夫 (3)個別指導の実施 (4)家庭学習定着のための工夫 ★★豊かな心 (1)協働できる力の向上(特別活動・教育相談の充実) ★働き方改革 (1)生徒と向き合う時間の確保(会議時間の短縮・行事の精選や実施方法等の改善) (2)長時間勤務の削減  阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は

## 2 重点課題

★★★ 確かな学力（「考える授業」づくりの充実、授業のUD化の推進、指導方法・教材の工夫、個別指導の実施）

★★ 豊かな心（小中一貫道徳教育の充実、肯定的評価の実施、郷土愛を育む取組の実施）

★ 働き方改革（生徒と向き合う時間の確保、長時間勤務の削減）